

イグルー(バケツかまくら)作り体験

イグルーとは、イヌイットの人たちが、切り出した雪のブロックで作る簡易住居です。ドーム型の住居は、安定していて風に強く、中は保温されます。ここでは、バケツを使って雪のブロックをつくり、組み立てます。切り出したブロックで作る場合には、意識的に内側に角度をつけて削ることが必要ですが、バケツを型に使うことで同じブロックを大量に作る事ができ、製作時間が短縮されます。



完成したら、中でろうそくを灯し、幻想的な三瓶の夜を過ごしましょう。

※入所後の打合せは行いませんが、確認表の事前提出をお願いします。

活動のねらい

- ・創作をする中で、グループ間のコミュニケーションが生まれます。
- ・年齢、性別関係なく、誰もが楽しく作成できるプログラムです。
- ・自分で工夫してつくることで創造力を養います。

一斉実施可能人数	50人程度	活動季節・条件	積雪期 ※積雪量が多い時
所要時間	2～3時間程度	実施場所	交流の家敷地内(つどいの広場を除く)
主な対象	幼児～		
指導について	職員による事前指導はありませんので、団体による自主運営で実施してください。		

活動の概略

- ①準備物等を確認します。
- ②雪を踏みしめたり、スコップを使って、雪を平らにならし、イグルーの土台を作ります。
※土台の内側を数十センチ掘り込むと、内部が広がります。
- ③綺麗な雪をバケツにギュッと詰め、逆さにして出し、横に倒して、並べ、丁寧に積み重ねていきます。
※上部に雪をはめこむのが難しい場合は、傘やシートなどの軽いものをかぶせてもよいです。
- ④入口・階段などを作り、内部を整地して完成です。
- ⑤小燭台にろうそくを立て、暗くなったらろうそくに火をつけましょう。
- ⑥活動後、片付け・用具返却をお願いします。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

バケツ、スコップ、ミニショベル、ライター、小燭台(ろうそくを立てるもの)、スパッツ、歩くスキー用靴、スノーシュー、和かんじき、救急バック、無線機

利用者または団体で準備する用具・材料

防寒着、靴(ゴム長靴など水が浸透しにくいもの)、防寒帽子、水筒
防寒手袋(軍手等綿製品は不可、厚手の毛糸が好ましく、無いときは薄手のものを二つ重ねて着用しても可)、ろうそく(持ち込まれた場合は、お持ち帰りください)、ライター

事務室で購入できる物

ろうそく10本セット(小)

※購入物品の金額については、利用申込書一式(プログラム教材・指導員申込書)をご確認ください。

当日の動き

- ①用具の準備 交流の家職員と一緒に用具の保管場所の確認をします。
- ②事前指導 団体の指導者が、明るいうちにイグルー(バケツかまくら)の基本的な作り方を説明します。
- ③活動 活動は自主活動です。安全指導を徹底し、火の後始末をしっかりとお願いします。
- ④ふりかえり 完成したイグルーの中で、活動をふりかえりましょう。
- ⑤用具の片づけ 用具を整理し、所定の場所に返します。返却後、事務室まで報告をお願いします。

安全対策・環境への留意点

- 高く積み上げている時に内部に入らないでください。また、上部に雪をはめこむ時には特に注意しましょう。
- 火を使う活動の際には、火がすべて消えたことを確認した後、事務室まで連絡をお願いいたします。
- 使い終わったろうそくは、お持ち帰りください。
- 積雪期・野外での活動になります。防寒対策をしっかりしてきてください。